

Q 過疎地域にある保育所の存続の方策は

A 住民と一緒に良い方向にもっていききたい

今後、様々な機会を通じPRし、利用者増加への努力をしていきたい。

また、現在のところ利用者への助成については考えていない。

Q 杷木地域新設小学校開設に伴う学童保育所の設置場所と建設に、保護者の意見をとり入れてはどうか。

A 小学校敷地内に設置することを基本に、安全性・利便性を考慮して進めている。校舎内に余剰教室がない場合は、適地を探して整備したい。

設置場所と建設にあたっては学童保育所設置検討部会を立ち上げて検討しており、保護者の意見を十分に尊重して進めていきたい。

Q 東峰村と境を接し、住民700名ながら活性化に努力している松末地区に存立している保育所が定員を

割り開所になろうとしている。地域の元気の源である保育所を存続させる方策はないのか。

A 子どものために何が、どのような形であるのが良いのかを判断基準にして、地域住民と一緒に良い方向に持っていこうと努力している。



佐々木 明子 議員

質問項目

- 1 子育て支援事業
- 2 過疎地域自立促進事業
- 3 杷木中学校敷地の安全性の確保



過疎地の元気の源
松末保育所

Q 福田地区・屋永区を対象とした単独公共下水道計画について、今後どのような方法で推進を図るのか、市長の考えは。

A 本年度中に、整備方針決定に向けての作業をスタートしたい。

Q ローム跡地の企業誘致

は、定住人口の確保、とりわけ少子化対策の一環として若い人達の定着定住化を図る上で、住環境整備の施策である公共下水道の整備と同様に、安定した生活を営む生活基盤の確保を図るための極めて重要な施策と考えるが、市長の考えは。



A ローム跡地の企業誘致は、市の企業誘致パンフレットで率先してPRに努めており、今後も周辺の道路の整備を図り、いろいろな企業の誘致に努めていきたい。

小島 清人 議員

質問項目

- 1 朝倉市下水道基本構想計画について
- 2 企業誘致について
- 3 小田茶臼塚古墳について
- 4 人口減少時代の自治体経営の在り方について

Q 福田地区小田区の国指定史跡、小田茶臼塚古墳の整備方針を問う。

A 大変貴重な古墳であり、できるだけ早く地元の住民と協議、連携して新しい道路整備計画を含めた古墳の整備計画の検討に入りたい。

Q 公共下水道の整備による定着定住化の促進は

A 本年度中に整備方針決定の作業をスタート

Q 子どもを産み、育てる世代の18歳から35歳未満及び65歳未満の生産年齢の住民が定着定住していく施策等の考え方を問う。

A 人口ビジョン、地方版総合戦略の策定を行い、人口減少社会に対応する具体的な施策をつくることとしている。この総合戦略が、今後の人口減少化の中で、行政経営の大きな指針となる。



ローム跡地の活用により
定住人口の確保を

Q 大型事業が朝倉市消滅のシンボルとならないか

A 今、進めている大型事業はやらせて頂きたい

実藤 輝夫 議員

質問項目

- 1 大型事業と財政の見通し
- 2 入札制度の課題



Q 市の試算による財政状況は平成35年度には歳入で約70億円の減少、歳出で投資的経費が約40億円減となる。また、単年度で約3億5千万円の赤字、累積赤字が約7億4千万円となり、それ以降も赤字は増加する。また、国保会計は平

成26年度財政調整基金から2億円の法定外繰入をしても約6億7千万円の累積赤字が残り、今後も赤字は解消されない。今後の対策は。

A 平成33年度以降の合併に伴う優遇措置等がなくなった時点から、どのような形で市の運営をしていくか、今の住民サービスを低下させることなく維持していくかを考えつつやっていかなければならない。

Q 今、計画中の大型事業は、将来の財政見通しから極めて厳しい。合併特例債190億円のうち120億円は既に事業に予定され、それ以外に体育館を含む朝倉農業高等学校跡地事業が約60億円、新市庁舎建設が約60億円想定されている。合併特例債の不足分はまちづくり振興基金などを取り崩し40億円、一般起債16億

円が充てられているが、将来、朝倉市消滅のシンボルとならないように願うが。

A 試算は今の状況でいくところという結果になるということで真摯に受け止めて、将来、試算のとおりにならないよう努力していきたい。朝倉農業高等学校跡地の活用が進められ、合併特例債がどの程度、新市庁舎に充てられるかは別として平成32年度という期限がある中で市庁舎建設にかかろうとしている。両方の大型事業がたまたま重なったということではどうかやらせて頂きたい。



新市庁舎予定地周辺

Q 市長の選挙公約「親と子と孫が一緒に暮らす朝倉市」は、どのような思いから出てきたのか。

A 塚本倉人元市長が市長選挙で使われた言葉であり、その時からとても共感していた。

Q 静岡県掛川市は、子育



中島 秀樹 議員

質問項目

- 1 「親と子と孫が一緒に暮らす朝倉市」について
- 2 コミュニティの高齢化について

のために新たに3世代同居する世帯に最大50万円を買物券で助成している。同居や近居を促す政策が、朝倉市にはあるのか。

A 市内の親子3世代であれば、30万円のリフォーム補助を受けられる制度がある。

Q 同居や近居は光熱費などの節約効果があり、家計への利点があると考ええる。また、孫消費など経済の活性化も期待できる。さらに、介護を受ける親や子育て支援を望む若い夫婦、双方に有効と思うが、市長はどう考えるか。

A 都会暮らしの若者が朝倉市に住むためには、働く場が一番大事である。助成金をあげるからと言っても来ない。ただ、市の姿勢を示す意味では、いいことだと思う。

Q 職場は短時間ではできないし、市が主体的につくこともできない。だから、若い人たちが朝倉市に来てほしいというメッセージを伝える政策を出していくべきではないか。

A 朝倉市のホームページに定住・移住に関するコーナーを設けている。この内容をさらに充実させて、情報発信に努めていきたい。

朝倉モデルをつくりたい



Q 3世代の同居・近居を促進し、時代に合った政策を

A 3世代のよさは、教育や経済面などいろいろある

Q 子どもの通院医療費助成の拡充を問う

A 国への提案も含め、市としても検討したい

村上 百合子 議員

質問項目

- 1 公共施設のマネジメントについて
- 2 成人用肺炎球菌ワクチンの勧奨について
- 3 子育て支援対策について



医療費にも多く負担がかかっている。特に子どもの通院医療費の負担は大変との声を聞いている。県内60市町村の状況を調査した結果、27市町村で小学3年生まで通院医療費助成が実施されている。市も早急な拡充対策をお願いしたい。

A 子どもの通院医療費助成はやりたいという気持ちだが、これは、全国の市で共通する問題点として国へ提案している。また、市としても検討していきたい。

成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の勧奨を

Q 高齢者の死亡率が高く

感染症である肺炎の予防のため、昨年度から65歳以上の方などへ5歳刻みでワクチン予防接種が行われているが、65歳以上の方全員が5歳刻みでなくとも予防接種

種できる対策ができないのか。

A 1回の接種で5年間の有効性がある。認知機能が衰えた方などが、5年以内に再接種を受けると副作用反応が出やすくなる。

Q そのための対策として、問診票を家族の方と確認対応していただくようお願いしているのではないか。高齢者の健康と医療費削減効果もあり、取り組み自治体も増えているが。

A 副作用のことを考えると慎重に対応したい。通知が来たら必ず接種していただきたい。



健康づくりと子育てに優しいまちづくり

グローバル化に対応した新たな英語教育のあり方について

Q 平成32年のオリンピックが来るまでに英語教育の充実が行われるが、国の動向は。

A 新しい学習指導要領がある。



鹿毛 哲也 議員

質問項目

- 1 グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方について
- 2 地元木材の有効活用について
- 3 廃校や空き庁舎の有効活用について
- 4 コミュニティサイクルについて

平成32年度に全面实施となり、その中で、新たな英語教育のあり方として、小学校の3年生と4年生について、週当たり1時間ないし2時間の活動型の授業、5年生、6年生は週当たり3時間の教科としての英語学習を行うこととなる予定である。

また、中学校では、週当たり4時間という授業時数は現行と変わりはないが、その授業のやり方について、基本的に英語のみで実施される事になっている。

Q 中学校の全ての英語教員について、英検準1級、TOEFL iBT 80点程度以上の英語力を確保と文科省の実施計画には書かれているが、朝倉市については、配置はしているのか。

A 現在配置はしていないが、英語教育推進リーダー

養成研修などに先生を出し、まず指導力を高めていくことにしている。

地元木材の有効活用について

Q 日田市やうきは市の木材補助のような事業が行えないのか。

A いい事業ではあるが、地域材の定義で、産地証明の問題があり、どうすればできるのかを調査検討していきたい。



ALTの先生を増員して朝倉市の子供達の英語力をもっと上げよう

英検：英語技能検定試験の一種
TOEFL iBT：英語技能検定試験の一種
ALT：外国語指導助手

Q グローバル化に向けた英語教育の展開は

A 平成32年度に新学習要領が実施予定